



不整脈をテーマに開かれた市民公開講座
＝徳島大大塚講堂

不整脈の予防・治療学ぶ

徳大病院フォーラムに650人

重大な病気につながる恐れのある不整脈をテーマにした市民公開講座「徳島大学病院循環器内科フォーラム2016」(同病院循環器内科、徳島新聞社共催)が29日、徳島市蔵本町3の同大大塚講堂

で開かれた。専門医が予防や治療について講演し、約650人が耳を傾けた。

「放置すると脳梗塞を引き起こすので危険。高齢者に発症が多く、酒、たばこ、睡眠不足、過労、ストレスが要因になる」とし、生活習慣の改善による予防を呼び掛けた。

徳島大学病院循環器内科の添木武准教授は2015年7月から保険適用になった新しいカテーテル治療を紹介。 「心筋の一部を凍らせるやり方で、早期段階の治療に適している。従来の加熱式より短時間で済み、心臓のダメージも小さい」と話した。

フォーラムではこのほか、最新のペースメーカーなどを活用した突然死予防の取り組み

の紹介や、講演した専門医によるパネルディスカッションが行われた。(川辺健太)